

# 蒲井・旭地区むらづくり計画

—風蘭の里 5年、10年先を見据えて—



平成27年10月

蒲井・旭活性化協議会

目次

1 計画作成の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 蒲井・旭の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

（1） 目標像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

（2） 基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

3 取り組みの内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（1） 幸せに笑って暮らせる村づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

① 暮らしの助け合いと交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

② 人を増やし組織を育てる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（2） 蒲井・旭ブランドづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

① 特産品開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

② 6次産業化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（3） 蒲井・旭グリーンツーリズム開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

① 都市との交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

② 観光ルートづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（4） 蒲井・旭の芯づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

① 施設活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

② プログラム開発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

4 推進の方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

① 推進の体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

② 進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

■ ほんものの故郷づくりの概略スケジュール・・・・・・・・・・・・・・ 7

■ 蒲井・旭の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

資料

1 事例

（1） むらづくり計画策定委員会名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

（2） むらづくり計画審議経過・報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12



## 1 計画作成の目的

京丹後市の西部にある蒲井・旭地区は、豊かな自然（日本海、里山など）、朝日長者、千石船寄港地など歴史と文化、季節ごとの山、海の美味しい食材、人情味豊かな人々、地域のまとまりに見られるように、日本の故郷と呼ばれるにふさわしい地区です。

しかし、人口においては蒲井地区11世帯・26人、旭地区15世帯・34人、高齢化率53.8%（平成27年7月現在）と、我が国の農漁村地域や京丹後市の他の地区と同様に、人口の減少、高齢化、漁業農業の後継者の減少と放棄地、鹿による農作物被害、若者の働く場の確保、公共交通の無い生活の困難化、娯楽、交流の機会の減少、このような課題を抱えながらも、私たちは、蒲井・旭地区が将来にわたって自律的・持続的に発展していくよう、地域の資源（ひと、もの、自然、絆）を最大限生かして、元気で魅力ある蒲井・旭にしたいと願っています。

この計画は、京丹後市の「地域まちづくり支援事業」の採択を受け住民の参加による計4回の話し合い（ワークショップ）、又、福井県の「ヘシコ」、香住町の「カヤック」大宮町の「歌仙」等、先進地視察を通じて「蒲井・旭の5年・10年先を見通した計画」として作成したものです。この計画を基に、住民が力を合わせ、外との交流をはかりながら、持続する蒲井・旭を育てていきます。

### ■ワークショップ開催の経過

回	日 時	テ ー マ	会 場	参 加 者
第1回	平成26年 8月25日	大手前大学協働	蒲井公民館	40人
第2回	平成26年 9月25日	自由討論	蒲井公民館	29人
第3回	平成26年10月24日	地元の資源探し	旭公民館	24人
第4回	平成27年 6月27日	大手前大学協働	蒲井公民館	39人
第5回	平成27年10月13日	風蘭の館指定管理に向けて	蒲井公民館	20人



第1回ワークショップ



第2回ワークショップ



第3回ワークショッ



第4回ワークショップ

## 2 蒲井・旭の将来像

### (1) 目標像

蒲井・旭地区は日和山・とうの山古墳が築かれた古代より日本海を介して大陸と交流し、江戸時代には、千石船の寄港地として栄えた地域です。蒲井・旭に住む人たちは、海の恵みをいただき、田畑を耕し米や野菜を作り、教育を通じて多くの人材を送り出し、外部との交流を通じて温かくまとまりのある地域を育ててきました。

そんな中、昭和50年に降ってわいた原発問題は約30年にわたり地域を混乱に落とし入れ、地域の発展の妨げになりました。

しかし30年という負の時代を乗り越えて今、若い人達を中心に新たな時代に向けた村づくりを目指しています。

目指す村づくりは、「ここに生まれてよかった」、「住んでよかった」と言える、真の豊かさが実感できる地域をすることであり、ここを訪れる人々に「もう一度来たい」、「住みたい」と言ってもらえる村を作ることです。

### (2) 基本的な方針

将来像を実現するために、次のような方針の下に取り組みます。

- ・皆がつながることにより、人々のふれあいや助け合いがあり、子供から大人までが住むことに誇りを持ち、安心して楽しく暮らせる蒲井・旭を育てていきます。
- ・都市の人々が蒲井・旭の特産品や田舎体験、観光などに魅力を感じて訪れ、様々な交流や協働活動を通じて、「賑わいや働く場の創出」、「新しい田舎の価値の創造と情報発信」を進めます。
- ・蒲井・旭活性化協議会を助け合いや団結の伝統を活かして、地域の将来を総合的に計画・具体化していく組織にします。



### 3 取り組みの内容

ワークショップで出された意見を基に、次のような取り組みを進めます。

#### (1) 幸せに笑って暮らせるむらづくり

##### ① 暮らしの助け合いと交流

###### ○暮らしのサポート

- ・車を持たない・乗れない高齢者、障害をもつ人々などのために、病院やスーパーなどへの交通手段として、二区循環バスの蒲井・旭まで延伸。又、デマンドバスの導入を調査研究し、促進します。
- ・農作物や里の景観を守るために、市と協働して、効果的な獣害対策を進めます。

###### ○集まれる場づくり

- ・風蘭の館、蒲井・旭の公民館を活用して、地域住民や都市住民が集まってお茶を飲みながらおしゃべりや交流ができる場づくりを進めます。
- ・昔のような「近所の付き合い」「集落間の交流」を活発にします。
- ・都市からの観光客を迎えて一緒に楽しめる、蒲井・旭作りを進めます。

##### ② 人を増やし組織を育てる

- ・蒲井・旭を愛する都会からの I、Uターン、地域おこし協力隊員の受け入れ。
- ・蒲井・旭の力になってもらえるよう、空き家の提供・市と協働して若い世代向け住宅・住宅地の開発を進めます。
- ・都市交流を盛んにし、地域づくりに新しい風の導入を目指します。

#### (2) 蒲井・旭ブランドづくり

##### ① 特産品開発

- ・黒アワビ養殖を軌道に乗せ、蒲井・旭のブランドとして特産品化を進めます。
- ・ワカメ、ジンバ、を始め豊富にある海産物による特産品づくりを進めます。
- ・特産品の開発、そのネーミングによるブランド化を進め、都市との交流を図り生産や販売の管理を進めます。

##### ② 6次産業化

- ・黒アワビの養殖施設と海産物の加工場を併設し、ワカメの加工や新しい特産品の開発を進めます。

#### (3) 蒲井・旭グリーンツーリズム開発

##### ① 都市との交流

- ・半化粧、ラベンダー、ひまわり、芝桜等の花畑を作り人の訪れる里づくりを進めます。
- ・風蘭の館は、都市との交流のメイン施設であり都会の学校、子供会、大学の合宿等を通じて交流を進めます。その上で、風蘭の館の裏にあるバイオ施設の建物を会議、研修室として整備していきます。

- ・都市交流を本格化させるため、京丹後市蒲井シーサイドクラインガルテンが作られ5年が経過しました。今後は、当施設も市と協議の上、蒲井・旭活性化協議会で管理をし、都市との交流の場としての活用を進めます。

## ②観光ルートづくり

- ・蒲井・旭を訪れる人々が歴史・文化・自然資源などを楽しめるような散策路、ルートづくり、マップや案内板の整備などを進めます。

## (4) 観光基盤づくり

- ・放棄地、菖蒲園跡地を花で演出するなど、「ほんものの田舎づくり」のために、蒲井・旭の美しいふるさと景観を育てます。
- ・イベントの企画を通じ交流人口の増加を目指します。

## (5) 蒲井・旭の芯（拠り所）づくり

### ①施設・環境整備

- ・市の公共施設見直し計画が平成25年度策定され、蒲井・旭地区にある市の施設（風蘭の館・シーサイドクラインガルテン・ツリーハウス等）の管理形態が大きく変わろうとしています。これを機会に、これらの施設を蒲井・旭活性化協議会で一括管理運営し、地域の芯（拠り所）となるよう市へ働きかけ環境整備に努めます。
- ・風蘭の館、クラインガルテンは、「都市住民との交流の場」。又、黒アワビを始めとした、「海産物加工・販売の場」の整備を進めます。

### ②プログラム開発

- ・蒲井・旭の人々が集まって話をする中から新しい活動や発想が生まれるよう多様なプログラムの企画・開催を目指します。
- ・都市住民を蒲井・旭に継続的に集められる、蒲井・旭の名物となるイベントやプログラムの開発を進めます。 例：蒲井・旭でしか開催できないような田舎体験や季節の行事。



## 4 推進の方策

### ① 推進の体制

- ・蒲井・旭活性化協議会が中心となり、実現化を目指します。そのため事務局機能を強化し、プランの進行管理を行います。
- ・「風蘭の館・クラインガルテン・ツリーハウス」、「特産品の開発や6次産業化」など、事業性の高い内容に関しては、地域振興部会が中心となり進めていきます。
- ・シーカヤックなど、専門性の高い内容に関しては、ノウハウ・実績を持つ外部の起業家組織との連携・協働を進め取り組みます。
- ・この他、域学連携事業で蒲井・旭地区に入り活動してくれる大手前大学との連携・協働を進めます。

### ② 進め方

#### <短期（～3ねん）>

- ・風蘭の館の運営、環境整備「集まれる場づくり」と「多様なプログラム」を通じて、プランの実現に向けた気運を高めます
- ・その中から「特産品」の開発、シーカヤックの導入などを具体化するとともに、資金の調達（コミュニティビジネス等）を通じて実現を目指します。
- ・観光開発に関しては、案内板（マップづくり）によって住民が地域を再発見し、外に向けて蒲井・旭をアピールするとともに「シーカヤック」の収益事業化を進めます。

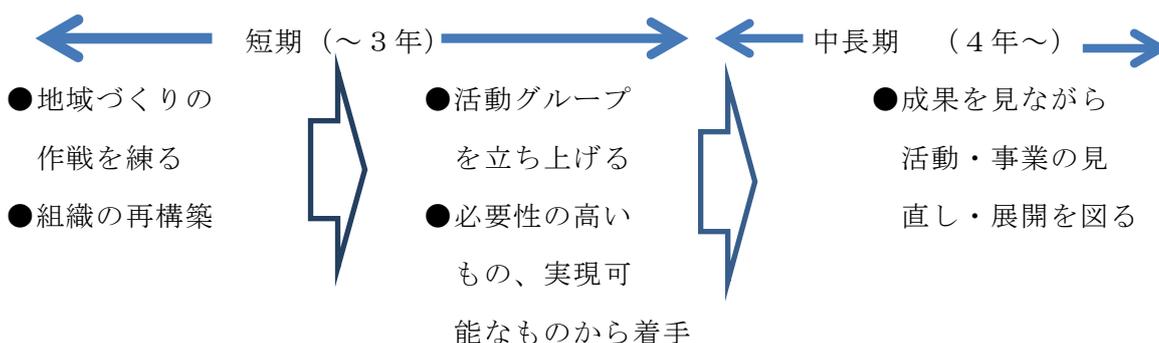
#### <中期（4～7年）>

- ・風蘭の館での多彩なイベントを催し、都市からの集客を拡大します。
- ・同時に来訪者が周遊できる「観光ルート」や「案内板」の作成、整備を進めます。
- ・風蘭の館・クラインガルテン・シーカヤック・特産品など収益事業の運営の安定向上。
- ・Iターン、Uターン、地域おこし協力隊等、移住者を含め住民の増加を図ります。

#### <長期（8年～）>

- ・短期・中期の取り組みを評価し、修正・発展をさせながら、自然と共生する未来型の暮らしが楽しめる「ほんものの田舎づくり」をさらに推進します。

### ■進め方のイメージ



■故郷づくりの概略スケジュール

取り組み		短期（～3年）	中期（4～7年）	長期（8年～）
幸せに 笑って 暮らせる 蒲井 旭づく り	●暮らし の中の助 け合いと 交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 巡回バスの導入 → 実施</li> <li>☆ 近所の付き合い集落間の交流の活発化 継続・発展</li> <li>☆ 風蘭の里まつりの盛り上げ 継続・発展</li> </ul>		自然と共生する未来型の暮らしを楽しめる「ほんものの田舎」の実現
	●住民増、 組織を育 てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 空き家対策（I・Uターン、地域おこし協力隊員誘致）</li> <li>☆ 女性の力の活用、登用・実現・実施</li> <li>☆ 地域振興部会の強化</li> </ul>		
ブラン ドづく り	●特産品 開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 特産品開発・研究・着手 → 拡大</li> <li>☆ 都市交流に合わせたスケジュール管理・着手</li> </ul>		
	●6次産 業化	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 加工品開発の研究・着手 → 拡大</li> <li>☆ 販売関係団体との 連携研究 → 具体化 → 実施</li> </ul>		
グリー ンツー リズム 開発発 展	●都市交 流	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 都市交流の継続 → 事業化 → 拡大</li> </ul>		
	●観光ル ートづく り	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 風景づくり研究 → 出来る事から実施（花畑など）</li> <li>☆ マップ作成 → 案内板作成</li> </ul>		
蒲井・旭 の芯（絆 ）づく り	●施設整 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 施設・環境整備 → 活動に合わせて拡充</li> </ul>		
	●プログ ラム開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 住民対象の多様なプログラム実施 → 拡充</li> <li>☆ 都市対象の多様なプログラム実施 → 拡充</li> </ul>		

# 蒲井・旭の整備計画

## 1 暮らしづくり

「ここに生まれてよかった」「住んでよかった」と言える

住民が安心して健全に暮らせる暮らしづくりに関すること

	事業名	事業内容
1	道路の新設・改良の整備促進  側溝、橋の改修	道路は、日常生活に欠かせない基盤となっています。 府道久美浜気比線は兵庫県への通行が不能になっているため、観光産業の活性化や住民の生活に大きな障害となっている。一日も早い整備が望まれる。 ・府道、市道の改良、整備。 ・両区とも
2	大谷川の整備促進	集落内川床の浸食がはげしく側面の石垣の基礎が出ていて崩れる危険があり、底入れをお願いしたい。 それに合わせ、周辺道路を散歩道として整備し訪れる人を受け入れたい。
3	地区内美化運動の実施	環境美化に対する意識の向上を図り、人の訪れたい村をめざし美化に努める。
4	地区集会所の整備	集落の拠点である公民館を区民がいつでも集える場として環境整備を図る。 蒲井・旭両区の公民館の改築・改修・修繕及び、設備・備品の整備
5	市営バス（コミュニティバス）の導入	病院への通院・市役所（市民局）買い物等と、交通手段を持たない高齢者の足の確保
6	防犯灯の整備	両区内及び府道空下～蒲井入り口の夜間の安全確保
7	消防用備品の補充・保守	蒲井・旭両区とも
8	海岸漂着物の除去及び清掃	人の訪れたい村にするため、定期的な清掃が求められる。漂着物が多いいため区民だけの取り組みには無理がある。行政の支援を願いたい。
9	蒲井海岸浸食防止対策	観光促進、人の訪れたい村にするため
10	旭港内の浚渫、両区防波堤の修繕、新設	台風等による災害防止のため

## 2 地域づくり

観光・イベントと、人が集い活気ある豊かでにぎやかな地域を目指す

	事業名	事業内容
1	風蘭の館、クラインガルテン、等施設の地元管理、運営。改修、整備	・これら市設備を管理運営することにより、地域活性化をめざす。又指定管理制度を続けていただき、エアコン等更新。
2	風蘭の里まつり・ふれあい住民まつり	都市住民との交流を図る
3	花いっぱい運動実施	人の訪れたい村にするため
4	人の訪れる里づくり（花の名所づくり）	地区内放棄地、菖蒲園跡地を花の名所にする
5	空き家利用、改修整備	若者を受け入れ、活気あるむらづくり
6	蒲井・旭港湾改良、改修、整備	台風等災害対策、及び観光施設にするため
7	蒲井・旭両区墓地公園の整備	石段、手すり等改修、整備
8	蒲井・旭両区神社公園の整備	参道石段手すり改修整備等、旭神社里道にフェンス設置

## 3 ものづくり（産業振興）

海・山に有る地元資源を再認識し、蒲井・旭ブランドの開発

	事業名	事業内容
1	黒アワビ	養殖事業を軌道に乗せる
2	サザエ等魚貝	特産品化を目指す
3	ワカメ・ジンバ・天草等海藻	特産品化を目指す
4	海	観光、人の訪れるむらづくりの目玉とする取り組み。
5	シーカヤック	地域の特徴を生かした産業に育て、それに必要なインストラクターを養成する。
6	海産物加工施設等の新設	海産物加工場、黒アワビ養殖場、カヤック艇庫事務所等の施設の新設
7	里山の整備及び有害鳥獣対策	里山の整備や電気柵等の推進を行い、有害鳥獣駆除対策を実施
8	共同作業場の整備	農家の営農を支援するため、共同作業場の改築、新設等整備を進める
9	共同利用農業機械の導入	農家の営農を支援するため、共同利用農業機械の導入を図る
10	第6次産業による儲かる地場産業の創設	海産物を始め地域の資源を利用した加工品づくりに取り組み販売を含めた6次産業化を目指す

1 1	特色ある蒲井・旭ブランド開発	地元資源による地元ブランドの開発 農、海産加工品の開発、加工設備備品の導入 (ワカメ乾燥機、真空パック等機械、加工場の導入)
1 2	先進地への視察研修	特産品開発、農地の有効活用をしている先進地への視察研修の実行

#### 4 げんきづくり

みんなで助け合い明るく元気に暮らすために

	事業名	事業内容
1	住民助け合いのシステムの構築	地域住民がお互いに助け合う、ネットワークのシステムの構築（見回り、声掛け、安否確認、緊急時対応）
2	外部の力の導入	I・Uターン、地域おこし協力隊員の受け入れ
3	健康散歩コースづくり	大勢で歩いて楽しい散歩コースの設定
4	高齢者の健康づくり	蒲井区が行っているようなサロンを両区合同で開催

#### 5 ひとつづくり

人と人のつながりを大切に、郷土を愛する心を育てる

	事業名	事業内容
1	あいさつ運動	人のつながりは、気持ちの良い挨拶からをモットーに挨拶を交わす村づくり
2	ふれあいの集いの開催	老いも若きも一堂に集える機会の創造
3	地域の伝統・文化の継承	地域の伝統・文化を学ぶ会を開催し、継承に努める
4	地区集落の歴史の学習	私達の地域と歴史をより深く理解し、後世に伝えるため学習し、区史・写真集等の編纂を考える
5	後継者不足の解消	地域の農漁業を担える人材の育成
6	リーダーの育成	むらづくり計画を確実に進めるためには強いリーダーが必要であり、育てる。



蒲井・旭むらづくり計画策定委員会名簿

【任期：平成26年8月～平成28年3月】

委員名	役職名	備考
古橋 五郎	策定委員会 会長	蒲井・旭活性化協議会会長
西中 猛	策定委員会 副会長 (H26年度)	活性化協議会副会長 (H26年度)
山下 司	策定委員会 副会長 (H26年度)	" " 副会長 (H26年度)
木下 修	策定委員会 副会長 (H27年度～)	活性化協議会副会長 (H27年度～)
橋本 進一	策定委員会 副会長 (H27年度～)	" " 副会長 (H27年度～)
浜田 至	策定委員会 委員	" 幹事・蒲井区長H26・27年度
種池 昌幸	策定委員会 委員	" 幹事・旭 区長 " "
浜上 誠	策定委員会 会計	" 会計
辻 完治	策定委員会 委員	" " 地域振興部 部長 H27年度～
仲地 久一	策定委員会 委員	" " 地域振興部 副部長H27年度～

蒲井・旭活性化協議会地域振興部部員名簿

氏名	役職名	備考
辻 完治	地域振興部 部長	
仲地 久一	副部長	
浜崎 晃一	部員	
古橋 勝芳		
木下 一彦		
西中 雅一		
木下 昌弘		
平尾 成弘		
橋本 好生		
浜上 誠		
種池 昌幸		
浜田 至		
橋本 進一		
木下 修		
木下 学		
古橋 五郎		

蒲井・旭むらづくり計画審議経過 (平成26年8月～)

月	日	会議名	内容
8	7	役員会	市より域学連携事業、まちづくり事業の説明を受ける。
	25	ワークショップ	域学連携、大手前大学
9	9	役員会	集落の将来について話し合い
9	15	役員会	市よりまちづくり事業について説明を受ける
	25	ワークショップ	地域への思いを出し合う
10	14	役員会	まちづくり計画取り組みを決める ワークショップ等方法で区民の意見収集する。臨時総会に向けて
10	24	臨時総会	規約改正、今後の活動承認(街づくり計画策定、市長懇談)
	24	ワークショップ	地域の資源探し
10	26	まちづくり計画申請書提出	市協働課へ
10	30	役員会	視察の検討 まちづくり計画推進方針検討
11	13	視察	視察先：福井県美浜町「女将の会」へしこ成功例
12	3	役員会	市長懇談に向けて、要望書検討
12	18	市長懇談会	古橋会長、浜田・種池区長、浜上会計出席
1	16	役員会	定期総会に向けて
1	26	27年度定期総会	地域振興部設立承認
2	4	第1回役員会	地域振興部員選出
2	6	振興部員委嘱状交付	
2	26	第2回役員会・振興部会	役員・振興部合同会議 むらづくり計画審議
3	18	域学連携	大手前大学4名の先生来蒲・旭、連携事業の在り方について
4	17	第3回役員・振興部会	カヌー視察他 むらづくり計画審議
6	4	第4回役員・振興部会	市施設見直し方針、域学連携事業 むらづくり計画審議
6	13	シーカヤック視察研修	香住ジオカヤッククラブ
6	27	域学連携	大手前大学12名学生来 地元民とワークショップ39名
6	28	” ”	” ” 海岸清掃 ツリーハウス下、
7	26	ふれあい住民まつり	旧風蘭の里まつり
7	30	第5回役員・振興部会	歌仙視察、「移住促進計画」他、むらづくり計画審議
8	26	域学連携(8/26.27)	大手前大学夏合宿 海岸清掃、資源探し、情報発信
8	30	大宮 歌仙視察研修	風蘭の館運営の研修。24名参加
9	10	第6回役員・振興部会	風蘭の館管理運営他。 むらづくり計画審議
9	16	峰山振興局 山田氏	シーカヤック補助金について 古橋会長、酒井
9	17	市、海業と会議 旭公民館	川島課長、蒲田氏・古橋、浜上、浜崎祐、辻、酒井、黒アワビについて

9	2 2	第7回役員・振興部会	9月24日 市部長、課長会議に向けて
9	2 4	企画・海業・協議会、会議	地域振興について。アワビ、カヤック施設建設。風蘭の館裏研修室整備。 木村、吉岡部長、川口、川島課長、松本局長、古橋、浜上、酒井
1 0	6	第8回役員会・振興部会	風蘭の館指定管理説明会 スポ観：磯田氏 むらづくり計画審議
1 0	1 3	第4回ワークショップ	風蘭の館指定管理に向けて

## 蒲井・旭むらづくり計画実績報告

- 1、域学連携事業（第1回ワークショップH26，8．25）      2、第2回ワークショップ（H26，9．25）



- 3、臨時総会（H26，10，24）

- 4、第3回ワークショップ（H26，10，24）



- 5、平成26年度定期総会（H27，1，26）

- 6、第4回ワークショップ（H27，10，13）





NHKの取材を受ける。黒アワビ H26年



香住ジオカヤッククラブ視察 (H27, 6, 13)





大宮町「歌仙」視察 (H27, 8, 30)



### 第1回蒲井・旭活性化に向けたワークショップ報告

・日時、場所：蒲井公民館 9月25日(木) Pm7:30～ 参加者29人

・自由に発言・発想(言いたい放題)

#### 第1班

##### ◎課題

・但馬(田井)から蒲井間の道路をつくる。・後期高齢者でもローンが組めるようにしてほしい。・婦人部の活動。・あそび場がない。・きれいな散歩道。・半化粧の花(田)、ラベンダー。・じじら山からロープウエーをつくる。・風蘭の館の利用。

##### ◎話し合い 自然を生かした活性化。

1、ジンバ(神葉)わかめ(若布)ハバの商品化。

・今は、個人でわかめ刈りをして個人で販売をしている。それを刈取りから干し、販売まで地区民で行い、地区の産業、特産品にする。

2、半化粧、ラベンダー、芝桜等の花畑を作り、人の訪れる里づくりを進める。

3、海に映る満月、朝日は本当にきれい。これをPRできないか。

4、散歩道。(蒲井の村中を流れる川を清掃、整備してカフェーを作り、川に沿った散歩道にする。)

5、リーダーの育成。

地域を引っ張っていってくれるリーダーがほしい。

6、風蘭の館の利活用。

風蘭の館を地域で管理活用し、地域の中心、拠り所とする。

第2班 自由な発想。(言いたい放題)

◎課題

- ・蒲井から但馬(田井)への道路。・田んぼの作り方・老後のこと、地区の世帯が減っていく心配。・息子に帰ってきてほしい。・蒲井・旭の明るい未来を。・嫁がない。

◎話し合い 高速道路を通す。嫁さん連れてきて。

- 1、私たちに結婚のチャンス。婚活を(地元の男10人、35~60代)
- 2、30~40代の女性。海の好きな女性。都会人でもいい。
- 3、海がきれい、海の幸が豊富。また来たいところ。

嫁で始まり嫁で終わる

第3班 二区周遊バスを蒲井・旭まで延長を。長渕つよしを連れてきて、蒲井・旭コンサートを

◎課題

- ・海を利用した村づくり・蒲井・旭の未来について・何事も長続きしない・地域の宝は?・便利をよくして・子供が安心して遊べる場所・風蘭の館、ツリーハウス、クラインガルデン、アワビ養殖活用方法

◎話し合い 市の施設はすべて地元で管理。産業を作り所得増を。

- 1、市の施設(風蘭の館、クラインガルデン、ツリーハウス、アワビ養殖)はすべて地元(活性化協議会)で管理する。
- 2、若布をはじめとした海の幸を生かした産業づくりを
- 3、風蘭の館を地元の発展の拠点とする。
- 4、館を海産物、干し物など食する場、(海の幸バーベキュー)特産品の製造販売の場にする。バイオハウスの活用。
- 5、クラインガルデン、ツリーハウスは地元で管理活用する。
- 6、海を利用した産業おこし。旭港でカヤックの貸出等の親子で楽しめる事業。

第4班

◎課題

- ・人口増加・しあわせ・きれいな村・住みやすく交通の便の良い村

◎話し合い 交通の便をよく。お金を寄付してほしい。

- 1、しあわせ
- 2、働く場所
- 3、お金、休日
- 4、子供の成長
- 5、地元愛
- 6、高齢者、子供も移動が可能に（交通の便）
- 7、結婚のできる（婚活）

## <役員会のまとめ>

- ・市の施設を地域で管理し地域の発展に利活用する。特に風蘭の館は、これからの活動の拠点とし、地域住民の集える場所とする。
- ・海を生かした事業（海産物の特産品づくり、旭港カヤック、海の幸バーベキュー等）
- ・買い物難民対策（二区周遊バスを当地区まで）
- ・但馬（田井）への道路。
- ・花畑。人が訪れる里づくり。
- ・蒲井、村中の川を生かした散歩道。
- ・リーダーの育成
- ・婚活を

◎これらの意見を重視し、今後の活動の基本に置き、ワークショップ等での検討課題とする。



## 第2回活性化に向けたワークショップ

・日時、場所 平成26年10月24日（金） 旭公民館 参加人数24人

・テーマ：蒲井・旭の資源探し

### 1班

・海—サザエ、アワビ、神葉、海苔、天草、はば、わかめ、魚、イカ、牡蠣

タコばかし、あごすくい

・山—天然水、あご花、おおグミの木、ワラビ、ゼンマイ、アケビ、

・川沿い—風蘭

・米—蒲井3戸、旭2戸

◎自然を生かした体験観光

### 2班

・海—わかめ、あおさ、アラメ、ハバ、神葉、… 乾燥カットわかめ等

塩づくり

・丘—花づくり…ラベンダー、半化粧、芝桜等、人のおとづれる里づくり。

・他—もやい石、ワラビ、ふき

◎素潜り体験（区画を決め料金を取り潜らす。一日漁業権）

地区の魚業者よりサザエを買い取り放流。

海鮮バーベキュー、さざえ、あわび、魚、イカ、干物

休耕田：花畑として整備し、人の訪れる里づくり。

### 3班

・夜空（星空）、月、朝日を見上げる場所を作る。 デートスポット

・旭長者、古墳（日和山・とうの山）・フクシマ神社（子宝） 史跡スポット（散策道）

・シーカヤック、サーフィン等 遊スポット

・琵琶落とし（座頭落とし） 心霊スポット

◎スポット作りで、村なか散策道づくり。

〈事務局〉

・地区内を見渡せばあらゆる所に多くの資源が眠っていることに気づかされた。

今後の村作りにこれらをどう活用できるか、地区の皆と考えていきたい。

## 活性化協議会による集落維持の仕組み

地域住民が主体となって、風蘭の館を拠点に、集落の連携による既存活動のブラッシュアップ（より一層磨き上げること）や新たな活動の実績をつうじて、次世代の人材を確保し、集落での活動をいつまでも続けられる魅力ある集落を目指す。 【平成28年4月1日開設】

### 目 標

- ・集落の維持
- ・将来の担い手となる人材の確保、

#### ★特産品づくり・販売

- ・充実、強化を図った活動の実施 → 新たな特産品づくり

#### ★移住者受け入れ

- ・I, Uターンの受け入れ
- ・新たな交流イベントや体験メニューの実施 漁業体験等

## 風 蘭 の 館

### 集落活動の拠点



蒲井・旭 26世帯60人

#### 【運営主体】

蒲井・旭活性化協議会

#### 【運営体制】

蒲井・旭地域振興部会

仕組みづくりの推進役

3年後のイメージ

#### ★海を生かした観光の確立

- ・人の訪れる地域づくり

#### ★鳥獣被害対策

- ・シカ、イノシシ対策

#### ★生活支援対策

買い物難民など、高齢者を地域で支える仕組み（巡回バス）

運営主体・体制

久美浜市民局

京丹後市